

平成23年度科学・技術関係予算についての
第一線の若手研究者からの意見募集結果
(24153：科学コミュニケーション連携推進事業)

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	1件
改善・見直しをした上で推進すべき	2件
推進すべきではない	0件
その他	0件
合計	3件

【主なご意見】

これまでの成果も貴重であるが、イベント参加者は参加する時点で科学への関心が高い人々である。今後は、イベントに積極的に足を運ばない人々にも科学に関する知識を与え、触れる機会をもたらすにはどうすべきか、裾野を広げる意味では不可欠である。その視点を盛り込んで事業を検討し進めるべき。

地域の博物館等の支援をするというのは、日本の科学技術・知識を世の中に還元でき、訪れた人の新しい視野を広げ、地域を活性化するために間接的にも効果があると思われ非常に良いことである。内容が難しく書かれているが、ターゲットとなる年齢層は、未来の科学技術開発者、アカデミックな基盤研究者となる若年層に絞ってはよいのではないだろうか。小学生や中学生から自然に身近であることを理解できれば、一般の方たちにも素直に最先端研究の必要性をわかってもらえるのではないかと思う。